



開倫ユネスコ協会
NewsLetter

第78号

足利市堀込町145 Tel 0284-72-5915
発行者 林 明夫 2013年6月1日

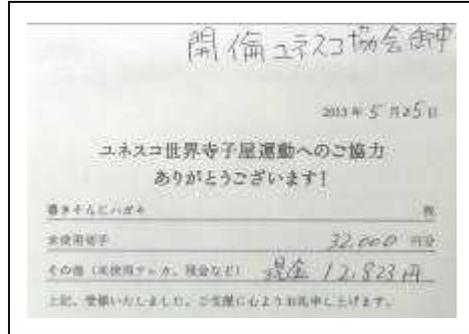
United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)

日本ユネスコ協会連盟へ切手の寄付と募金

2013年5月25日(土)、日本ユネスコ協会連盟で行われた評議員会後、当協会から日本ユネスコ協会連盟 松田会長へ、切手と募金を贈呈させていただきました。今回の募金は、第14回KAIRIN杯ドッジボール選手権大会で多くの方々からご協力頂いたものです。また、切手は、今年1月～4月までに書きそんじはがきとしてお預かりし、郵便局で切手に交換し今回東京へ持参致しました。



日本ユネスコ協会連盟 松田昌士会長



日本ユネスコ協会連盟から届いた御礼はがき

書きそんじはがきを集めよう!

全世界で、学校に通えない子どもが約6700万人、読み書きのできない大人が7億9600万人、この現実をあなたはご存じですか。ユネスコでは、世界寺子屋運動という取り組みをしています。子供たちを学校に通わせたい、読み書きできる大人になってほしいという思いが世界寺子屋運動の原動力です。

発展途上国にみられる、貧困による不の連鎖は大きい問題です。教育を受けられないことで、読み書き・計算ができないまま育ち、仕事に就けず、収入が少ない状態が続き、本人や子どもが教育を受けられなくなる...という悪循環が続きます。この負の連鎖の根本は教育に大きな原因があると考えられています。

これから夏の暑中見舞いのはがきなどで書きそんじてしまったはがきを開倫ユネスコ協会にお持ち頂けると有り難く存じます。



足利市長 和泉聡氏へ 防災資料贈呈

2013年6月3日(月)、大船渡ユネスコ協会から当協会に贈られた、防災資料「津波はいつかまた来る」57冊を、足利市へ贈呈させていただきました。図書館や公民館など足利市内のさまざまなところに置いて頂き、活用して頂ければ幸いと存じます。

林会長と高尾事務局長は、足利市長 和泉聡氏に防災資料を贈呈させていただきました。

この資料には、平成23年3月11日、東日本大震災で大きな津波被害を受けた東北地方、特に三陸海岸のすさまじがった様子がありありと表現されています。大震災の状況が、文章や写真によって蘇り、見る人の心に訴えかけています。再び来るかもしれない「その日のため」に今からさまざまな準備を怠ってはいけないと感じるすばらしい防災資料です。

大船渡ユネスコ協会と開倫ユネスコ協会との関係は、一昨年、当協会10周年記念式典や被爆アオギリ2世の植樹式などで、大船渡ユネスコ協会の皆様や顧問佐々木仁也氏との良好なかかわりが始まり、昨年は、大船渡ユネスコ協会のアオギリ植樹式に、足利市長からのメッセージをお預かりして、高尾事務局長が参加させていただきました。

最後に、足利市および大船渡ユネスコ協会の益々の御発展をお祈り申し上げます。今後とも、よろしくお願ひ申し上げます。



林会長 足利市長 和泉聡氏 高尾事務局長



足利市長からの感謝状



防災資料「津波はいつかまた来る」



根付いた被爆アオギリ2世